

# 眺洋山

2021  
5  
月

学校だより ちょうようざん

ホームページは  
こちらから→



学校教育目標  
自立・共生・自己実現



今年はずっとワクワクできる!

# INFORMATION

## 23 名の新生+4名の転入生！ ようこそ常石小へ

4月6日に始業式、7日に入学式を行いました。今年度の新生は23名。そして2年生以上の転入生は4名。合計で100名の学校となりました。入学式当日は、晴天にも恵まれ、とても良い式となりました。式の後には、低学年担任が、新生と保護者に向けて、「せかいのひとびと」という絵本を今年も読みました。みんな違って当たり前、そのままの君でいいんだよ、というメッセージ、聞いてくださった皆さんに伝わっていただければうれしいと思います。



なお、クラスに新しい仲間を迎えることになる低学年の組では、その準備をがんばりました。教室を飾ったり、お迎えのプログラムを考えたり。手作りでアットホームなお迎えができました。

## 運動会をリニューアル 子ども達が作る運動会を開催します！

今年度は改修工事のため、学校の運動場を使つての運動会ができません。学区民の運動会も中止となります。しかし、なにもできない一年間にはしたくない！ということで、代替えとして沼隈グラウンドを借りて自分たちで作り上げる運動会を行うこととなりました。



子ども達はこれまでの運動会を振り返り、改めてどんな運動会にしたいかを話し合いました。そして、いろんな学年が交じり合つてどんな競技があつたら楽しいかな、どうすればみんながともに笑顔になれるかなと考え、アイデアを出し合いました。子ども達による全く新しいセルフプロデュースの運動会、ぜひどのようなものになるのか楽しみにしてください。

## アサギマダラの飛来地をめざして フジバカマを植え替えました

昨年度から、数千 km もの距離を旅する蝶「アサギマダラ」の飛来地をつくる等の活動を始めた高学年ですが、このたび、常石パークに「アサギマダラ」が好む「フジバカマ」という植物の植え替えを行いました。当日は、関わってくださっている団体の方々も応援に来てくださり、実際に最近ふ化したアサギマダラも持ってきてくださいました。さあ、果たして常石パークにもアサギマダラは飛来するのでしょうか。乞うご期待です。



## 5 月の改装工事予定

5月には、校舎を覆うように工事用足場が組まれてきます。そして、4階及び3階のベランダ及び壁の耐震工事が始まります。グラウンドに工事用車両が頻繁に入るようになりますので、送迎のため自家用車でお越しの方は事故のないよう注意して走行してください。

## 異学年のよさを感じる春

昨年度からスタートした 1 年生から 3 年生までの異学年集団。昨年の今頃は、クラスにいるみんなが初めての体験で、どうやって接すればいいのか、どうやって学習を進めていけばいいのか手探りのところもありました。

しかし、今年は違います。新 2 年生と新 3 年生は、そのクラスで過ごしてきた先輩です。各クラスの文化やルールはすっかり熟知。例えば、提出物はどこに出すのか、給食の時はどう動けばいいのか等々、新年度だからと言って先生に教えてもらわなくても自分達で動けます。そんなクラスに新たな 1 年生が入ってくるのです。先生が 1 年生に教えなくとも、たくさんの先輩が導いてくれます。

「持ってきた荷物ははね、ここに入れるの」

「まず朝来たらここへプリント出すんだよ」

「こういうものはね、机の中に入れていて」

もちろん、生活の仕方だけではありません。サークル対話でも先輩が話をリードしていきます。自分の思いをどんどん語る先輩に、1 年生も最初はとまどいながらも、対話の雰囲気や仕方を体感しながらいつの間にか自然に加わるようになっていきます。

これまでの学校のシステムだと、担任の先生が新入生へ、全てを 1 から教えていく場面が多くなりがちでした。もちろんそれはそれで、よさもあります。しかし異学年集団のクラスでは、大人が過度に介入しなくても、自然な形で子ども達が関わり合いながらともに生活を作り上げていく姿をたくさん見ることができます。1 年生が生活に慣れるまでの春ならではの光景です。

### 時にはトラブルも

もちろん、全く問題がないかといえばそんなことはありません。子ども達は新しい仲間の特性や性格を知っているわけではありませんし、常に配慮しながら動けるわけではありません。時に、手をかけすぎてみたり、気付いてあげられなかったり、いらぬ言葉を投げかけてしまったり。その結果、相手を困惑させたり傷つけてしまったりすることもあります。

でも、私たちはそれが当たり前だし、むしろ大切なことだと思っています。学校とは、いろんなトラブルや失敗が起こる場です。そして、それが許容される場であるべきだと思っています。(もちろん、直接命に関わるような場合は別で、安全管理は大切にしています。)

では、そのような場で、私たち大人の役割は何でしょうか。それは、子どもがつまずきそうな石を事前に取り除くことではなく、つまずいた時にどう立ち上がるのか、次につまずかないためにどうするかを、その都度一緒になって考えていくサポーターになることだと思っています。

子どもは何度もつまずきます。失敗します。見ていてもどかしい場面もたくさんあります。我が子なら、なおさら心配になります。しかし、本当に社会に出た時に自分で乗り越えられる力を身に付けていくためには、きっと必要な経験です。私たちは、「トラブルや失敗があったけど、どうするかな」と子ども自身が考え、動けるように、ゆとりをもって子どもを見つめ、そして大人の力が本当に必要になった時にサポートできる存在でありたいと思います。



# 常石小学校写真館 4月のスナップ



たまご組 | 年生



ふね組 | 年生



1年生のお迎え準備がんばっています！



春をみつけに山へ行こう！



どんな生き物がいるかな？



なにが見つけたの？



クロームブックで調べています



サークルで意見交流



お姉さんが教えてあげようか？



作るぞ、自分だけの図鑑



すごいすごろくができたよ！

